

# 健診施設機能評価 Ver.5.0 書面調査票

## 1. 施設概要

事務局記入欄：

受付番号

初回認定日

1-1 事務連絡担当情報								
記入日		年		月		日	更新／新規	▼選択
取得済み認定バージョン	<input type="checkbox"/> Ver.1	<input type="checkbox"/> Ver.2	<input type="checkbox"/> Ver.3	<input type="checkbox"/> Ver.4				
事務連絡担当者氏名								
入力者役職・部署								
電話番号								
E-mail								

人間ドック実施指定契約の希望	▼選択
----------------	-----

※指定契約を希望する場合、すべての健保連要件項目においてB評価以上が条件となります。[人間ドック実施指定契約についてはこちら。](#)

1-2 施設概要							
学会の施設会員番号（4～5ケタ）	C		<input type="checkbox"/>	日本人間ドック・予防医療学会 入会予定あり			
法人名							
施設名							
健診業務 開始年月		年		月			
施設代表者 氏名（医療法上の管理者）							
施設代表者 役職							
郵便番号	〒		都道府県				
住所							

1-3 健診部門 責任者	氏名	職種	部署・役職 (併設の場合は組織全体における部署・役職を記載)	備考欄
健診施設長（所長、部長等）		▼選択		
医師部門		▼選択		
看護部門		▼選択		
事務部門		▼選択		
放射線部門		▼選択		
検査部門（検体検査）		▼選択		
検査部門（生理検査）		▼選択		
個人情報取扱 責任者		▼選択		
情報管理、システム部門		▼選択		
衛生管理者または衛生推進者		▼選択		

1-4 併設施設、関連施設の体制		
健診施設の併設状況	▼選択	健診部門名（病院併設で、健診部門名がある場合のみ記載）
補足		
外来診療の有無	▼選択	その他を選択した場合、以下に詳細を記載
「その他」の詳細		
二次検査対応の有無	▼選択	その他を選択した場合、以下に詳細を記載
「その他」の詳細		
禁煙外来の有無	▼選択	その他を選択した場合、以下に詳細を記載
「その他」の詳細		

1-5 認定・認証の取得状況 ※取得有の場合、調査時に取得日・更新日を確認	取得	補足（未取得の場合、今後の取得予定等）
日本医療機能評価認定	▼選択	
国際医療機能評価機関（JCI）認証	▼選択	
全日本病院協会認定施設	▼選択	
日本総合健診医学会優良総合健診施設認定	▼選択	
全国労働衛生団体連合会（労働衛生サービス評価機構認定）	▼選択	
ISO9001（品質マネジメントシステム）	▼選択	
ISO27001（ISMS）	▼選択	
プライバシーマーク（JISQ15001）	▼選択	
臨床検査室の認定（ISO 15189）（公益財団法人 日本適合性認定協会）	▼選択	
一般社団法人Medical Excellence JAPAN（MEJ）認証	▼選択	
外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）認証	▼選択	
日本脳ドック学会 脳ドック認定施設	▼選択	
ホワイト500、ブライツ500（経済産業省 健康経営優良法人認定制度）	▼選択	
その他認定・認証（詳細を以下に記載）	▼選択	

1-6 その他設備サービス	有無	補足説明
土日・祝日の実施	▼選択	
受付時間の選択、時間差受付の実施	▼選択	
婦人科検査への女性医師・女性技師の配置	▼選択	
健診専用の食事提供体制	▼選択	
検査の当日変更の受け入れ体制	▼選択	
健診専用宿泊設備	▼選択	
運動施設（フィットネスジム 等）	▼選択	
リラクゼーション（マッサージ、温泉等）のサービス	▼選択	
託児サービス	▼選択	
その他（詳細を以下に記載）	▼選択	

## 2. 職員

※健診施設 専任または本務：病院・診療所併設の場合、主に健診に従事していれば健診施設本務扱いとする。

### 2-1 健診業務の従事者数

		常勤				非常勤		合計 ①②③ 合計
		健診施設専任 または本務※		併設病院・診療所 兼務		人数	ドック従事 常勤換算	
		人数	ドック従事 常勤換算①	人数	ドック従事 常勤換算②			
注1) 人数にはドックに限らず健診全体の人数を書くこと。いなければ空欄。 注2) ドック従事常勤換算には、1人の1日の業務量を1としてドックだけの業務量を算出し、ドックに關与するスタッフ分の合計を書くこと。例) 1人の1日の業務量のうち60%がドックの業務、残りがそれ以外の業務の場合、ドック従事常勤換算は0.6となる。ドックに關与するスタッフ分の常勤換算を算出し、合計した数を書く。スタッフ2名で1名が0.6、1名が0.5だと常勤換算1.1となる。 なお施設内のドックのみを対象とし、巡回健診や生活習慣病健診などは含めない。								
医師合計 (自動計算)		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
医師	内科							0.0
	外科							0.0
	放射線科							0.0
	婦人科							0.0
	眼科							0.0
	その他の医師							0.0
保健師 (保健師資格を有する看護師は保健師としてカウント)								0.0
看護師・准看護師								0.0
管理栄養士								0.0
診療放射線技師								0.0
臨床検査技師								0.0
視能訓練士								0.0
事務職員								0.0
その他								0.0
総合計		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0

### 2-2 専門資格 (医師) 2-1に記載した医師が保有する資格/氏名を記載すること

日本人間ドック・ 予防医療学会		常勤		非常勤
		健診施設専任 または本務※	併設病院・診療所 兼務	
日本人間ドック・予防医療学会認定医 (人数)	⇒ 事務局 記入欄			
資格所有者の中で主に健診に関わる者1人の氏名				
人間ドック健診専門医 (人数)				
資格所有者の中で主に健診に関わる者1人の氏名				
人間ドック健診指導医 (人数)				
資格所有者の中で主に健診に関わる者1人の氏名				
人間ドック健診情報管理指導士 (人数)				
資格所有者の中で主に健診に関わる者1人の氏名				
遺伝学的検査アドバイザー (人数)				
資格所有者の中で主に健診に関わる者1人の氏名				
その他団体		人数	人数	人数
認定内科医				
総合内科専門医・内科専門医				
外科専門医・外科登録医				
産婦人科専門医				
眼科専門医				
放射線科専門医				
臨床検査専門医				
消化器病専門医				
循環器専門医				
呼吸器専門医				
消化器内視鏡専門医				
乳腺専門医				
検診マンモグラフィ読影認定医師				
超音波専門医				
上部消化管スクリーニング認定医				
産業医 (日本医師会認定)				

**2-3 専門資格（医師以外）** 2-1に記載した職員が保有する資格/氏名を記載すること

日本人間ドック・予防医療学会			常勤		非常勤
			健診施設専任 または本務※	併設病院・診療所 兼務	
人間ドック健診情報管理指導士（人数）	⇒ 事 務 局 記 入 欄				
資格所有者の中で主に健診に関わる者1人の氏名 （看護師、保健師、管理栄養士）					
修了者の中で主に健診に関わる者1人の氏名 （健康運動指導士）					
遺伝学的検査アドバイザー（人数）					
資格所有者の中で主に健診に関わる者1人の氏名 （医師、保健師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師）					
資格所有者の中で主に健診に関わる者1人の氏名（上記以外）					
<b>その他団体</b>		人数	人数	人数	
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 （マンモグラフィ検診精度管理中央委員会）					
胃がん検診専門技師（日本消化器がん検診学会）					
肺がんCT検診技師（肺がんCT検診認定機構）					
学会認定超音波検査士（消化器）					
学会認定超音波検査士（循環器）					
学会認定超音波検査士（体表臓器）					
学会認定超音波検査士（健診）					
学会認定超音波検査士（泌尿器）					
学会認定超音波検査士（産婦人科）					
細胞検査士					
健康運動指導士（健康・体力づくり事業財団）					
日本禁煙学会 認定指導看護師（保健師）					
日本禁煙学会 認定専門看護師					
第1種衛生管理者					

※2-2 専門資格（医師）に記載した以外の資格があれば記載。（対象は2-1に記載した職員が保有する資格）

--

※2-3 専門資格（医師以外）に記載した以外の資格があれば記載。（対象は2-1に記載した職員が保有する資格）

--

### 3. 検査の精度管理・読影体制／運用体制

#### 3-1 検体検査の管理状況

※責任者がいない場合は空欄（なし、と書かない）

<input type="checkbox"/>	施設検査室	検体検査の精度の確保に係る責任者名		
<input type="checkbox"/>	ブランチラボ	委託先		精度管理責任者名
<input type="checkbox"/>	外部検査機関	委託先		精度管理責任者名

結果報告までの所要時間	▼選択
-------------	-----

#### 3-2 細胞診検査の管理状況

<input type="checkbox"/>	施設検査室	細胞診検査の精度の確保に係る責任者名		
<input type="checkbox"/>	ブランチラボ	委託先		精度管理責任者名
<input type="checkbox"/>	外部検査機関※1	委託先		精度管理責任者名

※1 学会の基本検査項目（こちら）の外部委託についてのみ記載してください。特殊検査については記載不要。

※責任者がいない場合は空欄

#### 3-3 外部精度管理サーベイ参加状況

	主な実施機関	前年	前々年	前々前年
検体検査 <small>(日本医師会、日本臨床衛生検査技師会、全国労働衛生団体連合会、日本総合健診医学会等)</small>		▼選択	▼選択	▼選択
胸部X線画像検査 <small>(全国労働衛生団体連合会、日本総合健診医学会等)</small>		▼選択	▼選択	▼選択
胃部X線画像検査 <small>(全国労働衛生団体連合会 等)</small>		▼選択	▼選択	▼選択
マンモグラフィ検査 <small>(NPO法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設・画像認定施設 等)</small>		▼選択	▼選択	▼選択
腹部超音波検査 <small>(日本人間ドック・予防医療学会、全国労働衛生団体連合会、日本臨床衛生検査技師会 等)</small>		▼選択	▼選択	▼選択
心電図 <small>(日本総合健診医学会 等)</small>		▼選択	▼選択	▼選択

#### 3-4 画像読影

※ここで言う【専門医】は各領域の専門医や読影認定・研修会受講など専門的知識を有する医師をさす。

上部消化管X線	状況
1) 技師によるチェック	▼選択
2) 専門医による読影	▼選択
3) 一次読影	<input type="checkbox"/> 専門医 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 専攻医・認定医や人間ドック健診専門医
二次読影	<input type="checkbox"/> 専門医 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 専攻医・認定医や人間ドック健診専門医
4) 二重読影	▼選択
5) 遠隔読影体制	▼選択
胸部X線 <small>肺がん検診のための胸部単純X線症例検討会などを年1度以上受講する医師も含む</small>	状況
1) 専門医による読影	▼選択
2) 二重読影	▼選択
3) 遠隔読影体制	▼選択
腹部超音波	状況
1) 専門医による読影	▼選択
2) 遠隔読影体制	▼選択
眼底	状況
1) 眼科医、専門医等による判定	▼選択
2) 遠隔読影体制	▼選択

上部消化管内視鏡	状況
1) 専門医による読影	▼選択
2) 二重読影	▼選択
乳房X線 <small>検診マンモグラフィ読影認定医師を含む</small>	状況
1) 専門医による読影	▼選択
2) 一次読影	<input type="checkbox"/> 専門医 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 専攻医・認定医や人間ドック健診専門医
二次読影	<input type="checkbox"/> 専門医 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 専攻医・認定医や人間ドック健診専門医
3) 二重読影	▼選択
4) 遠隔読影体制	▼選択
心電図	状況
1) 循環器医、専門医等による判定	▼選択
2) 遠隔読影体制	▼選択
CT	状況
1) 専門医や専門的知識を有する医師による読影	▼選択
2) 遠隔読影体制	▼選択
MRI	状況
1) 専門医や専門的知識を有する医師による判定	▼選択
2) 遠隔読影体制	▼選択

※補足説明があれば以下に記載

### 3-5 検査体制

採血検査		有無	上部消化管X線	台	有無
1) 採血マニュアル		あり	1) 技師の専門資格		▼選択
2) 採血に伴うトラブルに対する対応マニュアル		あり	2) 平均検査時間		▼選択
胸部X線		有無	3) 検査に伴うトラブルに対する対応マニュアル		▼選択
1) 撮影画像に関して検討する場		▼選択	4) パニック所見に対処するマニュアル		▼選択
2) パニック所見に対応するマニュアル		▼選択	上部消化管内視鏡		有無
乳房X線		有無	1) 医師の専門資格		▼選択
1) 施設画像評価認定取得		▼選択	2) 平均検査時間（前処置含めず）		▼選択
2) 技師の専門資格		▼選択	3) 検査に伴うトラブルに対する対応マニュアル		▼選択
3) 検査に伴うトラブルに対する対応マニュアル		▼選択	4) パニック所見に対処するマニュアル		▼選択
4) パニック所見に対応するマニュアル		▼選択	腹部超音波		有無
呼吸機能検査		有無	1) 技師の専門資格		▼選択
1) 感染対策マニュアル（フィルターの交換など）		▼選択	2) 平均検査時間		▼選択
2) 検査前の精度管理の実施		▼選択	3) パニック所見に対応するマニュアル		▼選択
3) 検査に伴うトラブルに対する対応マニュアル		▼選択	注）「台」はドック、健診で使用できる台数を記入すること。		
4) パニック所見に対応するマニュアル		▼選択			

※補足説明があれば以下に記載

### 3-6 最終結果報告書発送までに要する期間

最終結果報告書発送までに要する期間の目安	▼選択
----------------------	-----

### 3-7 食事

提供の有無
▼選択

※金券・食事券提供の場合も有とする。

⇒食事提供有の場合、右にも記入してください。

管理栄養士の関与
▼選択

食事提供に関する補足事項（自由記載）

### 3-8 禁煙体制

禁煙体制
▼選択

※病院併設型で院内外に喫煙室が設けられていても、健診施設内が禁煙であれば施設内禁煙とする。

禁煙体制に関する補足事項	その他禁煙への取り組み（禁煙外来、職員の禁煙 等）があればその取り組みを記載する

### 3-9 IT機器保管

内容	実施状況（複数選択可）			
健診システム	<input type="checkbox"/> 健診施設内	<input type="checkbox"/> 併設施設とネットワーク化	<input type="checkbox"/> なし	
画像デジタル化	<input type="checkbox"/> すべて	<input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無		
サーバー設置場所	<input type="checkbox"/> 健診施設内	<input type="checkbox"/> 併設施設内	<input type="checkbox"/> 外部委託	

#### 4. 実績 ※算定期間は原則として年度（4月～3月）とする。過去2年以内のものを提出すること。

##### 4-1 算定年度

▼算定期間が年度でない場合は以下に記入。

算定年度（西暦）	年度	年	月	～	年	月
----------	----	---	---	---	---	---

##### 4-2 人間ドック年間稼働日数、実施曜日

人間ドック年間稼働日数	人間ドック実施曜日
日	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 祝日

##### 4-3 各種健診の実施状況

※契約なしは空欄、契約はあるが0人は「0」と記入。

種別	年間受診者数(人)	継続受診者数(人)(過去3年以内)※5	継続受診率(%) 自動計算	一日最大人数(人)	一日平均人数(人) 自動計算	受付開始時刻	開始～終了までの受付回数 ※6	①②のコース名 事前提出の検査表と一致していること
① 一日ドック（学会の基本検査項目を含む健診）※1								①のコース名
② 学会の基本検査項目を満たさない総合的健診								②のコース名
二日ドック								
その他単独ドック（脳ドック、肺ドック等）※2								
生活習慣病予防健診（協会けんぽ）								
生活習慣病予防健診（協会けんぽ以外）								
労働安全衛生法に基づく健診（事業者健診）								
自治体のがん検診（他の健診との重複無し）※3								
特定健診								
上記以外の健診（施設内）								
施設外・巡回健診※4								
備考								

※1 日本人間ドック・予防医療学会の基本検査項目は[こちら](#)。

胸部X線1方向のみや眼圧未実施など、学会の基本検査項目を満たさない健診は②に入れること。

※2 単独ドック：単独の部位を調べることを目的とするドック（脳ドック等）の検診、検査をさす。

※3 自治体のがん検診：健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として市町村が実施する以下のがん検診の総数を記入。

※4 巡回健診（施設外）：施設外で行う健診コースを指す。巡回型健診コースが複数の場合は、合計数を算定。

※5 継続受診者：過去3年以内に同施設で人間ドックを受診した者とする。

※6 受付回数：受付を何回かに分けている場合は回数を記入。例）8:00-8:30、8:30-9:00の2回受付に分けていれば2と記入。

##### 4-4 人間ドック受診者数詳細（性別・年齢別）

種別	算定年度（西暦）		0		年度		計（人）
	受診者数						
	39歳以下		40～74歳		75歳以上		
	男性（人）	女性（人）	男性（人）	女性（人）	男性（人）	女性（人）	
① 一日ドック（学会の基本検査項目を含む健診）※1							
② 学会の基本検査項目を満たさない総合的健診							
二日ドック							
計							

※1 日本人間ドック・予防医療学会の基本検査項目は[こちら](#)。

一日ドックで胸部X線1方向のみや眼圧未実施など、日本人間ドック・予防医療学会の基本検査項目を満たさない健診は②に入れること。

##### 4-5 人間ドック受診者数詳細（月別受診者数）

① 一日ドック（学会の基本検査項目を含む健診） 受診者数												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
二日ドック 受診者数												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計

## 5. 人間ドックにおける医師による結果説明

### 5-1 人間ドック結果説明実施率

算定年度（西暦）		0 年度		※以下の結果説明率の母数は書面調査票4-3 各種健診の実施状況の①年間受診者数	
一日 ドック	当日結果説明（人）	後日結果説明（人）	当日結果説明率(%)	当日+後日結果説明率(%)	
二日 ドック	当日結果説明（人）	後日結果説明（人）	当日結果説明率(%)	当日+後日結果説明率(%)	

### 5-2 結果説明実施状況（体制等）

1日の結果説明医の配置状況	～	名体制	診察と結果説明について（同時/別）			▼選択		
結果説明の開始～終了時刻	説明開始	時	分	～	終了	時	分	
受診者1人あたりの想定説明時間		▼選択			結果説明の記録		▼選択	
結果説明 必須項目 (画像は提示でも可)	<input type="checkbox"/> 身体計測・血圧	<input type="checkbox"/> 血液・尿	<input type="checkbox"/> 心電図	<input type="checkbox"/> 腹部超音波				
	<input type="checkbox"/> 胸部X線	<input type="checkbox"/> 上部消化管（胃X線・内視鏡）						
その他の結果説明項目や時間帯で説明項目が変わる等があれば記載								



## 6. 保健指導

### 6-1 人間ドックの保健指導

算定年度	年	月	～	年	月
	一日ドック			二日ドック	
保健指導実施数	人			人	
⇒うち特定保健指導実施者数	人			人	
保健指導実施率	※母数は書面調査票4-3 各種健診の実施状況の①年間受診者数			※母数は書面調査票4-3 各種健診の実施状況の①年間受診者数	
平日1日当たりの平均指導実施数	人			人	
1人当たりの指導時間(アセスメント～面接～記録まで)	分			分	
通常時と繁忙期の保健指導実施体制 注:実施していない場合は0か空欄	通常時	AM	人	PM	人
	繁忙期	AM	人	PM	人
保健指導に使用している資料	<input type="checkbox"/>	当日の健診結果	<input type="checkbox"/>	医師の面談記録	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	経年的なデータ	<input type="checkbox"/>	問診票	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	前回の指導記録	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	指導ツール(パンフレット・フットモデル)等	<input type="checkbox"/>		
受診率向上に向けた体制構築の工夫がある	▼選択			▼選択	
指導担当者	<input type="checkbox"/>	保健師	<input type="checkbox"/>	看護師・准看護師	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	管理栄養士	<input type="checkbox"/>	医師	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他(備考に記載)			
指導の対象基準が設定され、マニュアルに明文化されている	▼選択		▼選択		
	「一部を対象にした仕組みがある」場合	<input type="checkbox"/>	医師の指示	<input type="checkbox"/>	医師の指示
		<input type="checkbox"/>	希望者のみ	<input type="checkbox"/>	希望者のみ
	<input type="checkbox"/>	その他(詳細を備考に記載)			<input type="checkbox"/>
保健指導のマニュアル	▼選択			▼選択	

指導内容	<input type="checkbox"/>	健康目標を立案している
	<input type="checkbox"/>	対象者が目標・具体的な行動計画立案に参画している
	<input type="checkbox"/>	目標を達成するための具体的な行動計画を立案している

指導記録の有無	▼選択
保健指導の効果の評価	▼選択
前回立案した健康目標、行動計画の評価をしている	▼選択

ツールを毎年評価し更新する仕組みがある ▼選択

担当者の個人スキル評価 ▼選択

事例検討の実施 ▼選択

備考	
----	--

### 6-2 特定保健指導

特定保健指導の実施  あり (以下に回答)  なし (6-3へ)

施設全体の前々年度の保健指導実施数		年度	計	人
分類	初回面接実施者数	終了者数	服薬開始	脱落者数
動機付け支援	人	人	人	人
積極的支援	人	人	人	人

特定保健指導初回面接実施体制	
<input type="checkbox"/>	健診当日の結果に基づき特定保健指導実施
<input type="checkbox"/>	健診結果が揃わない場合の分割実施
<input type="checkbox"/>	健診結果が出てから後日面接実施(3か月以内)
<input type="checkbox"/>	情報通信技術を活用した初回遠隔面接(ICT)実施

備考	
----	--

### 6-3 人間ドック・特定保健指導以外の健診を対象とした健診結果に基づく保健活動※

実施状況	▼選択							
⇒行っている場合は右に記載								
場面	<input type="checkbox"/>	医療面接(事前問診)	<input type="checkbox"/>	待ち時間	<input type="checkbox"/>	診察時	<input type="checkbox"/>	止血時間
	<input type="checkbox"/>	健診終了後	<input type="checkbox"/>					
実施内容	<input type="checkbox"/>	保健指導	<input type="checkbox"/>	受診勧奨	<input type="checkbox"/>	健康に関する情報発信、啓発活動		
	<input type="checkbox"/>	後日、電話での健康相談			<input type="checkbox"/>	その他(詳細を備考に記載)		
備考								

※保健活動…自己評価2.6.3.1の注釈を参照

## 7.事後管理

注：新規受審の場合2年分は必須ではない。更新は必須。

参考：要精密検査率がプロセス指標の基準外の場合、赤・下線が付きます。  
※6参照

### 7-1 人間ドックにおける要精密検査（D判定）へのフォローアップ体制（連続した実績2年分）

算定年度 最新	0		年度(西暦)		★「がん疑いの精検指示者数」を把握している場合は記載してください。																
要精密検査 (主にがん検診に関する検査)	検査実施数(人) 食道・胃で分けられる場合はそれぞれに記入		①要精密検査数(人)		要精密検査率(%) 自動計算		★①のうち、がん疑いの精検指示者数		がん疑いの要精密検査率(%)		② 精検受診数(人)		精検受診率(%) 自動計算		★②のうち、がん疑いの精検実施数		がん疑いの精検受診率(%) 自動計算		発見がん総数	うち進行度不明数	
	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし			
上部消化管X線【食道】																					
上部消化管X線【胃】																					
上部消化管内視鏡【食道】																					
上部消化管内視鏡【胃】																					
便潜血																					
胸部X線																					
マンモグラフィ																					
乳房超音波		▼選択																			
子宮頸部細胞診																					
HPV検査		▼選択																			

算定年度 上記の前年	-1		年度(西暦)		★「がん疑いの精検指示者数」を把握している場合は記載してください。																
要精密検査 (主にがん検診に関する検査)	検査実施数(人) 食道・胃で分けられる場合はそれぞれに記入		①要精密検査数(人)		要精密検査率(%) 自動計算		★①のうち、がん疑いの精検指示者数		がん疑いの要精密検査率(%)		② 精検受診数(人)		精検受診率(%) 自動計算		★②のうち、がん疑いの精検実施数		がん疑いの精検受診率(%) 自動計算		発見がん総数	うち進行度不明数	
	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし	区別可	区別なし			
上部消化管X線【食道】																					
上部消化管X線【胃】																					
上部消化管内視鏡【食道】																					
上部消化管内視鏡【胃】																					
便潜血																					
胸部X線																					
マンモグラフィ																					
乳房超音波		▼選択																			
子宮頸部細胞診																					
HPV検査		▼選択																			

※1 上部消化管X線検査において、上部消化管内視鏡検査で精検を実施した数を記入

※2 便潜血において、大腸内視鏡検査で精検を実施した数を記入

※3 胸部X線において、CT検査で精検を実施した数を記入

※4 マンモグラフィ、乳房超音波はカテゴリ3(D)以上で悪性を疑った数

※5 子宮頸部細胞診はASC-US以上の所見数

※6 プロセス指標は厚生労働省 がん検診のあり方に関する検討会 資料参照

<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/001046964.pdf>

### 7-2 人間ドックにおける要精密検査・治療（D判定）へのフォローアップ体制（連続した実績2年分）

算定年度 最新	0		年度(西暦)			
要精密検査・要治療	検査実施数		要精密検査・要治療の指示者数	要精密検査・要治療の指示率(%)	要精密検査・要治療の受診把握数(人)	受診率(%)
	腹部超音波					
心電図						
眼底						
血圧						
糖尿病関連						
脂質関連						

補足（左記以外に実施している検査のフォローアップなど）
-----------------------------

算定年度 上記の前年	-1		年度(西暦)			
要精密検査・要治療	検査実施数		要精密検査・要治療の指示者数	要精密検査・要治療の指示率(%)	要精密検査・要治療の受診把握数(人)	受診率(%)
	腹部超音波					
心電図						
眼底						
血圧						
糖尿病関連						
脂質関連						

補足（左記以外に実施している検査のフォローアップなど）
-----------------------------

### 7-3 人間ドックにおける要再検査・生活改善へのフォローアップ体制

次回受診時（約1年後）、1年未満の区別がない場合は、「1年後」欄に指示者数を記入してください。

検査実施数	再検査・生活改善の指示者数(人) ※1		再検査・生活改善の指示率(%) ※2		受診勧奨などのアプローチを年内に行う体制の有無		
	次回受診時	1年未満	次回受診時	1年未満	次回受診時	1年未満	
糖尿病関連				0		▼選択	▼選択
脂質関連				0		▼選択	▼選択

※日本人間ドック・予防医療学会 判定区分改定について（2022年4月）参照

<https://www.ningen-dock.jp/wp-content/uploads/2013/09/2022hanteikubun.pdf>

※1 再検査・生活改善の指示者数とは、受診者へ報告する結果において、生活習慣の改善を行い1年（3、6か月後等）の再検査指示者数をさす（1年後もしくは次回受診時の経過観察指示者は含まない）。

※2 再検査・生活改善の把握率とは、上記指示者数のうち、再検査実施、生活改善状況などの経過を1年以内（もしくは次回受診時）に把握できた数をさす。

## 8. 健診結果の分析

### 8-1 過去3年間の調査研究への参加状況

	参加した調査研究名称
日本人間ドック・予防医療学会の調査研究 ※1	
日本人間ドック・予防医療学会以外の調査研究 ※2	

※1 日本人間ドック・予防医療学会：がん症例実態調査、会員施設実態調査 等

※2 国立がん研究センターの調査、消化器がん検診全国集計 等

### 8-2 過去3年間の学会活動実績 **(行っていない場合は空欄)**

筆頭、共同は問わない。健診、人間ドックのデータを利用した発表や論文、または健診に関する発表や論文に限る。

	タイトル・氏名不要	日本人間ドック・予防医療学会	その他
医師	<b>演題</b> 記入例：第〇回〇〇学会		
	<b>論文（原著）</b> 記入例：雑誌名 〇号		
保健師 看護師 栄養士	<b>演題</b> 記入例：第〇回〇〇学会（保健師）		
	<b>論文（原著問わず）</b> 記入例：雑誌名 〇号（保健師）		
医療系 その他	<b>演題</b> 記入例：第〇回〇〇学会（〇〇技師）		
	<b>論文（原著問わず）</b> 記入例：雑誌名 〇号（〇〇技師）		
事務系 その他	<b>演題</b> 記入例：第〇回〇〇学会 〇〇技師		
	<b>論文（原著問わず）</b> 記入例：雑誌名 〇号 〇〇技師		
		自動判定	C

## 9. その他（自由記載）

### 9-1 自施設PR

この説明は消してかまいません。

- ※ 自施設の特徴やアピールポイント、また、評価項目に該当しない事項であっても独特な取り組みがあれば自由に記載して下さい。
- ※ 評価項目の自己評価コメントとある程度内容が重複しても構いません。

例：当センター基本理念『●●●●●』のもとに、当センターは受診者にとって健康のための「かかりつけ医」の立場を目指し、継続性のある長期的な受診者との関わり合えるドックを実践している。

### 9-2 前回受審以降、また新規受審に向けた取り組み

この説明は消してかまいません。

- ※ 更新施設・・・前回受審時の指摘事項や課題に対する取り組みなどについて詳細に記載してください。
- ※ 新規施設・・・今回の受審を機に検討した事項や改善された事項について詳細に記載してください。
- ※ 評価項目の自己評価コメントとある程度内容が重複しても構いません。

例：①内視鏡室の感染管理として、カーテンで仕切った。将来的には、内視鏡室の拡張移転の予定あり  
②議事録に日付と出席者を記入するようにした  
③更衣室にも意見箱を設置し、投書しやすくした。回収率が●%アップした。  
④更衣室に姿見と椅子を設置した  
⑤1Fにも館内案内板を表示した  
⑥昼食の成分表示を行った  
⑦保健所、看護師、検査技師、放射線技師の増員  
⑧事務室の入退室記録をつけ、掲示した  
⑨検査精度管理や薬品等の棚卸しにダブルチェックを実施した（確認印）